

経営方針

長崎県教育方針

長崎県の教育は、国際交流の歴史が息づく郷土の伝統と文化を継承し、豊かな自然を守るとともに、命の尊さや個人の尊厳を重んじ、公共の精神を身に付け、我が国や世界の平和と発展に貢献していこうとする調和のとれた人間の育成をめざす。

学校・家庭及び地域住民は、「教育県長崎」の確立のため、自らの役割と責任を認識し、互いに手を携え、県民挙げて子どもたちを健やかに育むとともに、生涯にわたって学び続けることのできる社会の実現を図る。

とくに、教育に携わる者は、子どもたちに深い愛情を注ぎながら、その使命を自覚し、識見と指導力を高め、本県教育の充実と発展に努めなければならない。

長崎県教育振興基本計画 ～長崎県の明日を拓く人・学校・地域づくり～

本県教育が目指す人間像

- 創造性に富み、自立した人間
- いのちを重んじ、心豊かでたくましい人間
- 郷土及び国家を担う責任を自覚し、その形成と発展に主体的に参画する人間
- 我が国と郷土の伝統・文化や自然を誇りに思い、未来を創造し、国際社会に貢献する人間

本校の教育方針

校訓「自立創造」の理念のもとに、人間性豊かにして、徳・知・体の調和のとれた社会に有為な逞しい人間を育てる。

校訓 「自立創造」(高い志を抱いて自分の人生を自分の力で切り拓く)

校是 「文武両道」

努力目標(詳細は裏面) ※人事評価票(業績評価)の「学校経営方針等」の欄に記載

- (1) 生徒支援の充実と教育相談の推進
- (2) 師弟同行の下での道徳的実践力の育成
- (3) 授業改善による学ぶ意欲の向上と生涯学び続ける生徒の育成
- (4) 健康教育の推進と安全管理の徹底
- (5) 学校行事、生徒会活動及び部活動の充実と推進
- (6) 芸術文化活動・読書活動の推進
- (7) 省エネルギーの推進と美化意識の醸成
- (8) 併設型中高一貫教育の充実と推進
- (9) 広報活動の充実と開かれた学校づくりの推進

令和7年度 諫早高等学校・諫早高等学校附属中学校 努力目標

(1) 生徒支援の充実と教育相談の推進

- ① 互いに敬愛（リスペクト）し、かけがえのない存在と大切に思い合う関係づくりを行い、対話を通して、主体的に学校づくりに参画する環境を醸成する。
- ② 心理的安全性の確保された環境をつくり、生徒理解と信頼関係構築に努める。

(2) 師弟同行の下での道徳的実践力の育成

- ① 道徳教育全体計画を踏まえ、すべての教職員で、道徳的実践力を育成する。
- ② 教育活動のねらいを明らかにし、主体的に行動する生徒を育成する。
- ③ いじめ防止基本方針に基づく様々な取組を通して、人権意識の高揚を図る。

(3) 授業改善による学ぶ意欲の向上と生涯学び続ける生徒の育成

- ① 授業参観を通して、中高6年間を見通した教科指導の研究や教材の開発に努め、個人及びチームとして授業改善を図る。
- ② ICT機器の活用等により、誰一人取り残さない授業実践を目指す。
- ③ 志の高い進路目標を設定し、その実現に向け努力し、挑戦する生徒を育成する。
- ④ 学校生活に余白を作り、活用することで、主体的に学ぶ生徒の育成を目指す。
- ⑤ キャリア教育を充実させ、進路意識の向上を図る。
- ⑥ 授業・特別活動を通して、地域とのつながりを意識することで、グローバル精神を育成する。

(4) 健康教育の推進と安全管理の徹底

- ① 生徒及び教職員の健康保持に努めさせ、自己管理能力を培う。
- ② 学校行事・部活動等を通して、体力の向上と健康の増進を図る。
- ③ 安全教育を徹底し、安全意識と生命尊重の精神を高め、事故の絶無を期する。
- ④ 安全点検を定期的実施し、安心安全な環境を整備する。
- ⑤ 教職員間の情報共有を徹底し、あらゆる危機を未然に防止する。
- ⑥ 望ましい教育条件の整備充実に努める。

(5) 学校行事、生徒会活動及び部活動の充実と推進

- ① 学校行事の内容等を工夫し、魅力ある学校づくりを推進する。
- ② 生徒の主体的な活動への支援を通して、生徒会活動の活性化を推進する。
- ③ 部活動や諸活動への取組を通して、自立した生徒の育成を目指す。
- ④ ボランティア精神を養い、ボランティア活動の充実を図る。

(6) 芸術文化活動・読書活動の推進

- ① 豊かな情操と温かい連帯の心を養い、人間尊重の精神を育てる。
- ② 文化や芸術等に関心を持ち、美しいものに感動する豊かな心を育てる。
- ③ 読書活動を推進し、豊かな感性と表現力、判断力を養う。

(7) 省エネルギーの推進と美化意識の醸成

- ① ゴミの減量、省エネルギーを推進し、環境保全意識の高揚を図る。
- ② 清掃活動を通して、環境美化に努める生徒を育成する。

(8) 併設型中高一貫教育の充実と推進

- ① 中高一貫教育のメリットを最大限に活かす教育課程を策定し、指導体制を確立する。
- ② 内進生と高入生の融和を図るとともに、ともに高め合う環境を整える。

(9) 広報活動の充実と開かれた学校づくりの推進

- ① 学校説明会やオープンスクール等を通して、本校の特色についてPRに努める。
- ② 学校ホームページや学校だより等を活用し、教育活動の周知に積極的に努める。
- ③ 適正・正確・迅速な会計処理に努める。